

AI 活用で挑む学問の革新と創成
2022 年度採択研究代表者

2022 年度
年次報告書

福重 春菜

神戸大学 大学院保健学研究科
助教

個人特性を考慮したナースコール発生予測モデルの作成

研究成果の概要

本研究の目的は、看護業務の遂行に与える影響が大きいと言われているナースコールに着目し、その発生予測モデルを作成することである。それにより、更に効果的・効率的なナースコール対応方法を提案することで、より患者のニーズに沿った看護提供ならびに看護師のケア提供時間の増加を目標としている。

本年度は、第一にデータ分析の前段階として、データを分析可能な形式に加工する作業を行った。本研究では患者毎の個人特性を抽出することを目指しているが、ナースコールログデータは全患者のデータが発生順に記録されており、患者毎の分析が出来る形では蓄積されていない。また、本研究では電子カルテより抽出された複数のデータセットを使用するが、それらは結合されていない。そのため、患者毎のデータへの形式加工およびデータセット間の結合を行った。

第二に、上記で作成したデータを用いて、最適な分析手法の検証を行った。ナースコールログをはじめ病院に蓄積されている既存データは未だその活用方法が模索されている段階であり、既存データから個人特性を抽出できる方法を見出すことそのものが検討事項である。本年度は、上記作成データを用いることで、患者の個人特性を反映したと考えられる特徴的なナースコール発生状況を特定した。次年度以降はこの特徴に焦点を当て、個人特性の抽出ならびにその発生予測に着手する。